安全上のご注意

据付、運転、保守、点検の前に、必ずこの『安全上のご注意』と、『取扱説明書』を熟読し、正しくご利用下さると共に、大切に保管していただけますようお願い致します。

このマニュアルでは、安全注意ランクを日本電機工業会の「重機機器の安全確保のための警告表示に関するガイドライン」により「高度の危険」、「危険」、「注意」として下記の様に区分してあります。

高度の危険

：　取扱いを誤った場合に、極度に危険状態がおこりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合

危　　険

：　取扱いを誤った場合に、危険な状態がおこりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合

注　　意

：　取扱いを誤った場合に、危険な状態がおこりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合

なお、⚠ 注意　に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守って下さい。

保守点検注意事

１）　入力電圧が定格入力電圧範囲内かどうか。

２）　出力電流が定格値以内かどうか。

３）　異常なうなり音または、臭いがないかどうか。

４）　入出力端子にゆるみ、発熱、変色、ホコリ等がないかどうか。

５）　異常なスパークが発生していないかどうか。

６）　ボルトスライダーのブラシのカーボンが著しく摩耗していないかどうか。

７）　電圧調整ツマミに回転ムラ、カカリがないかどうか。

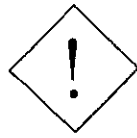
８）　油の減少、汚れはないかどうか。（油入トランスの場合）

９）　高圧ガイシに汚れ、ホコリ等がないかどうか。
定期的に乾燥した布等で油、ゴミを取り除いて下さい。

運搬・設置

１）　運搬には、機械的振動、衝撃を与えないで下さい。
開閉時には、横倒し落下等のないよう充分注意して下さい。

２）　キャスター付装置を設置する場合は、水平な場所に設置し、転がらないようにして下さい。

３）　設置場所は、周囲温度０～４０℃の屋内に設置して下さい。

⚠ 危　険

1）　本装置の電源の接続、負荷の接続は必ず電源側のスイッチを切ってから行って下さい。

2）　本装置のアース端子は必ずアースを行って下さい。
接地は第一種接地（１０Ω以下）程度として下さい。

3）　本装置の通電中は充電部、特に高圧部には絶対に触れないで下さい。触れると感電します。

4）　過負荷での使用は、装置の焼損または故障を起こしますので、絶対にしないで下さい。

5）　本装置は湿度の高い所やホコリの多い所、水滴のかかる場所での使用は避けて下さい。
漏電やショートにつながります。

6）　耐圧試験中には作業者はゴム手袋を使用し、ゴムマットをしき、ゴム長靴を着用し、安全に万全を期して下さい。
また、周囲の人に危険を知らせるために危険ロープを張ったり、赤色回転灯等により感電事故のないように処置をして下さい。

7）　高圧端子の配線は、高電圧に見合った充分耐圧の高い電線を使用して下さい。

8）　爆発性の雰囲気での使用はしないで下さい。

取　扱　説　明　書

１．品　　名　　　耐圧試験器

２．仕　　様　　　仕様書による

３．目　　的　　　電機機器耐圧試験を安全かつ迅速に行う事を目的とし、被試験物の焼損を防ぐ為に設定電流以上の電流が流れた場合には、回路をしゃ断すべく過電流リレーを内蔵しております。

４．御使用の前に・・・

１）本体後部の接地端子（Ｅ）を必ず接地して下さい。
本器は一線アース式となっておりますので、接地せずに使用する事はできません。

２）本体後部の接地端子（Ｅ）から被試験物の低圧側へ配線して下さい。

３）本体後部扉内の高圧出力端子（ＨＶ）及び、中間タップからの配線には充分耐圧の高い線を使用して下さい。

４）電源ブレーカ（ＭＣＢ）がＯＦＦ及び、ＨＩＧＨ　ＶＯＬＴＡＧＥツマミが最低になっている事を確認してから後部電源端子に入力電源を接続します。

５）タイマーにより自動で一定時間耐圧をかける場合には、ＴＩＭＥＲにて試験時間の設定を行って下さい。

６）添付の試験成績表を参照して、ＯＣＲ　ＡＤＪ．ツマミにてＯＣＲ動作電流値のセットを行って下さい。

７）高圧出力コードを被試験物の導体（端子等）に接続して下さい。（略図参照）

５．操作方法

１）電源ブレーカ（ＭＣＢ）をＯＮにするとＰＯＷＥＲ表示ランプ（ＷＬ）が点灯します。

２）ＴＥＳＴの押しボタンスイッチを押すとＴＥＳＴ表示ランプ（ＧＬ）が点灯し、高圧回路に通電した事を示します。

3）出力電圧計の指示を見ながら、ＨＩＧＨ　ＶＯＬＴＡＧＥツマミを右回しに回して電圧を御希望の電圧値にセットします。

4）タイマーによる自動操作時にはタイマースイッチをＯＮにして下さい。

5）手動操作時及び、自動操作時のタイマーセット時間内で耐圧の不良を生じた時には、過電流リレー（ＯＣＲ）が動作して出力電圧が零となり、ＮＧ表示ランプ（ＲＬ）及び、ブザーで表示しますから電源ブレーカ（ＭＣＢ）をＯＦＦにし、ＨＩＧＨ　ＶＯＬＴＡＧＥツマミを零Ｖ（左回しいっぱい）に戻して下さい。

6）耐圧に異常のない場合、タイマー動作ではタイマーセット時間の間、耐圧試験が行われタイマー不動作ではＲＥＳＥＴスイッチをＯＮするまで耐圧試験が行われます。

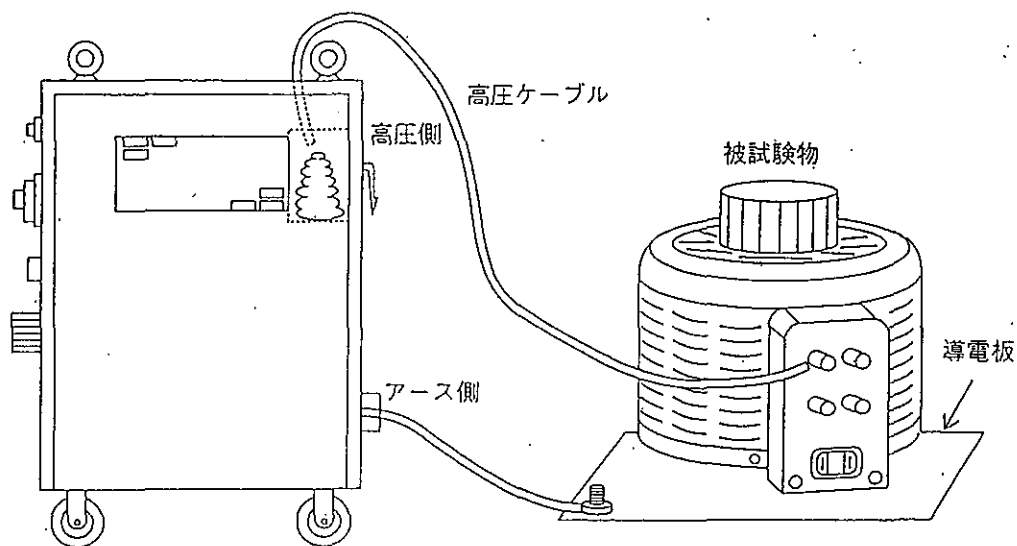
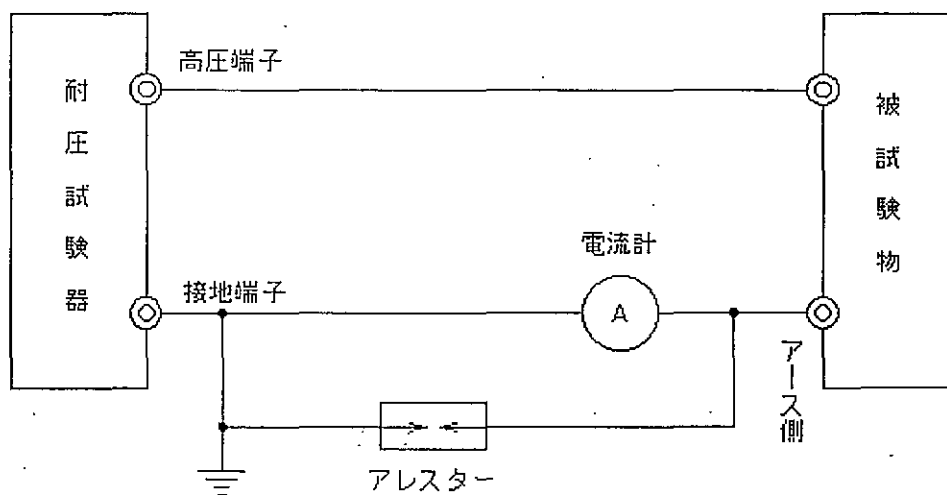
7）タイマー動作は先に耐圧電圧をセットしてからタイマーを動作させる（タイマーＳＷ　ＯＮ）と耐圧試験が行われます。

8）耐圧試験が終わった時は、ＨＩＧＨ　ＶＯＬＴＡＧＥツマミを零Ｖに戻し、電源スイッチを切って下さい。

6．注意事項

1）高圧機器は湿気とかゴミを非常にきらいます。特に湿気の多い所での使用は極力避けて下さい。又、時々高圧端子を乾燥した布等でふいてきれいに保って下さい。

2）耐圧試験中には、作業者はゴム手袋を使用し、極力露出した作業着等は避けて下さい。又、試験中は他の人が近づかない様、ロープを張るかパトライトを取り付け、感電事故を未然に防ぐ処置を怠らない様にして下さい。

耐圧試験方法

※　耐圧試験器のメーターでは読み取れない電流を測定する場合

上記の様な結線とし、被試験物とアースとの間は絶縁しておく。
なお、もし電流計が壊れた場合には、被試験物とアース間を絶縁している関係上、被試験物ーアース間に高電圧がそのままかかる様になる為、上図の様にメーターと並列にアレスター又はそれに類似するものを入れて安全対策を行う。

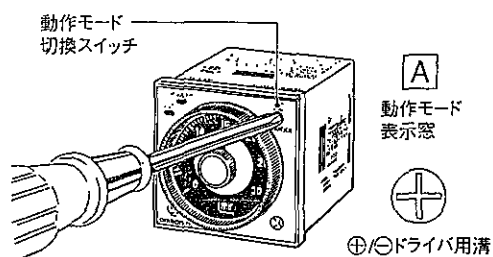
タイマー説明

H3CR-A

■基本操作

動作モードの選定

❷動作モードの切り換え

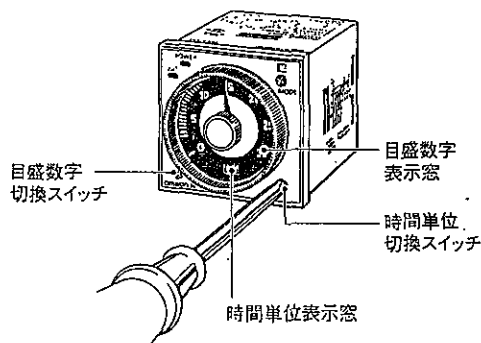
・形H3CR-AはA～Eの動作モード切り換えができます。⊕ドライバまたは⊖ドライバを使用し、スイッチ切り換えを行ってください。6段階に動作モードが切り換わります。切り換わったモードは、上部の窓にA、B、B2、C、D、Eと表示されます。

●スイッチの切り換え方法

・時間単位、目盛数字、動作モード切換スイッチは右回り、左回りのどちらに回しても設定できます。

・切換スイッチは、所定の位置に設定されるように、スナップ部を持っていますので、これに合わせて設定してください。途中に設定されますと誤動作や故障の原因になりますので行わないでください。

時間仕様の選定

❸時間仕様の切り換え

・時間単位表示は、前面右下部スイッチにより、セットダイアル下部中央表示窓にsec、min、hrs、10hと表示されます。目盛数字は、前面左下部のスイッチによりセットダイアル内の右下表示窓に1.2、3、12、30と表示されます。

時間値の設定

❹セットダイアルで時間を設定します。

注意：耐圧試験器は、動作モード（A）にて使用して下さい。